

高千穂郷・椎葉山地域 (宮崎県)



写真 モザイク林 (高千穂郷・椎葉山地域にある諸塚村)

高千穂郷・椎葉山地域(宮崎県)は、標高1,000m以上の険しい山々に囲まれた山間地で、約92%が森林と、耕作地が極めて少ない。この地域は、「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」と呼ばれ、2015年に世界農業遺産^{※1)}に認定された。希少な土地の環境を生かした伝統的な農業・農法、及び生物多様性が守られた土地利用と、農村文化・農村景観など一体的に維持保全し、次世代への継承を促している。

この地域にある諸塚村は、今でこそSDGsが叫ばれるようになったが、ずっと昔から、活発な林業と森林保全とを両立した森林管理が行われ、持続可能な林業が続けられてきた。椎茸栽培や畜産などの農業と林業とを合わせた「農林業複合経営」を行う「農林家」が多く存在している。1957年に林業家の経営安定に加え、森林の恵みが将来も継続するよう、また、木材の生産に偏りすぎないようにするため、林業に椎茸・畜産・お茶を加えた四項目を村の四大基幹作物と定めた。以来、諸塚の山々は、「モザイク林」(写真)という独特な景観を呈するようになった。敵地敵木を目的とし、用材生産のための針葉樹林、椎茸栽培のための落葉広葉樹林、天然林として保全される常緑の照葉樹林^{※2)}という三種の森林がパッチワーク状に配置され、人々が森林を大切に維持しながら活用してきた表れである。

※1)世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems(GIAHS):ジアス)とは、2002年(平成14年)、食料の安定確保を目指す国際組織「国際連合食糧農業機関」(FAO、本部:イタリア・ローマ)によって開始されたプロジェクト。

※2)冬でも落葉しない広葉樹

<参考>

Miyazaki's Countryside

<https://miyazaki-countryside.com/>

世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域

<https://takachihogo-shiibayama-giahs.com/>

■表紙写真のご紹介:

雲海とご来光(宮崎県西臼杵郡日之影町・矢形の集落近辺)

■アクセス:

●JR延岡駅からバス、徒歩で約70分

●九州中央自動車道蔵田交差点出入口(IC)から車で約15分

(表紙の写真)

高千穂郷・椎葉山地域

場所:宮崎県 高千穂郷・椎葉山地域

